

令和4年4月14日（木）、兵庫県赤十字奉仕団からウクライナ人道危機救援金562,000円をお預かりしました。兵庫県赤十字奉仕団では、ウクライナの報道を見て、自分たちも何か力になればと、各地域の奉仕団の役員さんを中心に救援金を集めてくださいました。

友藤委員長（写真中央）から救援金を受け取った兵庫県支部の大久保事務局長は、3月2日よりウクライナ人道危機救援金を募集している日本赤十字社の対応について、主に紛争地で活動する赤十字国際委員会（ICRC）に10億6千万円、周辺国で活動する国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）に10億6千万円を資金援助したことを説明しました。

友藤委員長は「報道を見ると胸が痛んで涙がでます。一刻も早く戦争が収束して、ウクライナに幸せな日が戻ってほしい。集めた救援金を苦しんでいる人々に届けてくださる赤十字に感謝します。」と話されました。

